



★八王子中だより★

★学校教育目標 『大志を抱け ひとみ輝く 八中生』

～ 賢く 豊かに 逞しく ～

★令和8年3月2日(月) さいたま市立八王子中学校学校だより 3月号

★HP アドレス <http://hachioji-j.saitama-city.ed.jp/> (生徒の学校生活の様子等をHPにアップしています)

かけがえのない仲間

校長 酒井 和浩



暦は3月となり、まだまだ寒い日が続いていますが、テレビを見ていると早咲きの桜が見ごろを迎えたとの話題も放送されるようになり、春の訪れが感じられる時期になったと実感しました。

いよいよ令和7年度も残りわずかとなりました。1か月後には、1年生は先輩として、2年生は最上級生として中学校生活を送ります。そして、3年生は環境も変わり、新たなステージで各自の生活を送ることになります。残り1か月、責任もまた重くなりますが、

来年度に向けて各自がしっかりと準備を進めてくれることを期待しています。

先月、イタリアで冬季オリンピックが開催され、日本人選手の活躍は目を見張るものがありました。その中で、フィギュアスケートペアの三浦璃来選手・木原龍一選手の演技は、周りの人たちに大きな影響・感動を与えました。フィギュアスケートはショートプログラムとフリースケーティングの2つの演技で採点されますが、最初に行われたショートプログラムでは、普段ミスをすることがない場面でミスをしてしまい5位となり、大きく出遅れました。演技終了後、木原選手は涙を流し、気持ちも深く落ち込みました。そのような中、ペアである三浦選手が、翌日のフリースケーティングが実施されるまで木原選手にずっと寄り添い、前向きな言葉をかけていました。また、女子フィギュアスケートシングルの坂本花織選手も、2人に「大丈夫だよ」と声をかけました。その結果、フリースケーティングでは歴代最高点となる素晴らしい演技を見せ、大逆転で金メダルを獲得しました。そして、坂本選手は2人の姿を見て力をもらい、その後に行われた女子フィギュアスケートシングルで銀メダルを獲得しました。

どんな苦しいことや辛いことでも、これまで一緒に過ごしてきた仲間はかけがえのないものです。また、仲間の優しさは自分にとって大きな支えとなります。木原選手も落ち込んでいた中、三浦選手の支えがあったからこそ気持ちを切り替え、立ち直ることができたと思います。3年生は、半月後には卒業を迎えます。八王子中で過ごした3年間、お互いにいろいろな場面で支え合ってきたことと思いますし、仲間に優しくしてもらったことで、立ち直ったこともあると思います。また、坂本選手のように、仲間から力をもらうことで、自分の力が十分に発揮できたこともあると思います。そのような仲間を、卒業後も地域の仲間として大切にしていきたいです。そして、1・2年生は学校行事や部活動など、学校生活全般を通して仲間を大切にし、お互いが信頼できる素晴らしい学年(集団)を作り上げてほしいです。3年生のように、卒業する頃には「素晴らしい仲間に出会えてよかった」と言えることを願っています。

最後に、保護者・地域の皆様、今年度も本校の教育活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。今年度は40周年記念式典やコミュニティ・スクール等、大きな行事にもご協力をいただきました。来年度もさらに改善を図り、八王子中学校全体でよりよい学校になるよう前進していきたいです。今後も変わらぬご支援をいただければと思います。1年間本当にありがとうございました。